

昭和52年度 和歌山県文化奨励賞

で ぐち み ち 出 口 美 智

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：昭和11年

◎業績及び経歴

昭和34年東京芸術大学ピアノ科卒、その間矢田映子・井口基成・井口秋子各氏に師事、また、ゲザ・アンダ氏のスイスでの夏期講習にも参加し、現在相愛女子大学音楽学部助教授の要職にある。

和歌山での音楽活動は、海野義雄ヴァイオリンリサイタルの伴奏を和歌山市民会館と和歌山県民文化会館でつとめたほか、田辺市・御坊市でのリサイタルにも共演した。

また、県民文化会館が主催するクリスマスチャリティー音楽会には連続6回出演、東儀祐二、矢田映子各氏等と共演するとともに独奏などでも出演した。

放送関係でも、NHK「夕べのリサイタル」「午後のリサイタル」読売テレビ等にも出演、音楽の普及に努めているが、グループ活動でも、わかば会・ピアノグループ「えーむ」を主宰するかたわら和歌山市交響楽団、和歌山県民オペラ協会の中心的な役割を果たしている。

また、わかば会門下生等は、NHK全日本学生音楽コンクールのピアノ部門西日本大会で昭和46年から連年複数で一・二位に入賞、その指導力は高く評価されている。